

行雲流水

No. 208 令和4年4月27日発行

感染拡大の波を食い止めよう

校長 寒河江 正人

「**何だか、まるで休日登校してるみたいだ。**」

昨日の朝、3年生女子の一人が、ぽつりとそうつぶやいた。

1年生と2年生が登校してこない「**3年生だけの朝の風景**」をそう表現してくれた。

3年生の生徒諸君。

やっぱり君たちは「**本校の顔**」だ。

君たちの元気な姿、あいさつの声がなくては「**神町中学校の一日**」は、始まらない。

しかし、いつ、君たちにも「**感染の手**」がおよぶのか、わからないのも事実だ。

くれぐれも、当たり前になったはずの「**感染防止の対策**」を徹底して欲しい。

昨日の県内の新規感染者は、**200人**。

その内、**東根市内の感染者数は、30人**である。

本校の「学校関係者」による感染者数も、これに含まれている。

何としても、**感染拡大の波**を食い止めなければならない。

なぜなら、君たちも知ってのとおり、

ゴールデンウィーク中には、各部で**各種の大会**などを控えている。

たとえば、**5月2日（月）の北村山中中学校駅伝競走大会**もその一つである。

もしも、このまま「**感染拡大の波**」が大きくなり、止まらなければ、
様々な部の各種大会への出場も叶わなくなるかもしれない。

それは、何としても避けたいものだ。

だからこそ、今できることは、「**不要不急の外出を避ける**」こと。

そして、**不織布マスクの着用、手洗い・手指消毒の励行、換気の徹底、ゼロ密の徹底**。

こうした「**当たり前になっているはずの行動習慣**」をお互いに徹底しよう。

その先に「生徒諸君の活躍の場」の実現があるのだから。